

資料5

現行の基本方針の推進施策の進捗状況と課題

兵庫県 まちづくり部 都市政策課

令和7年度の目標 及び 現況

面的なまちづくりに関する目標

- 目標に対して実績は低調
- ユニバーサル社会づくり推進地区整備事業を抜本的に見直す予定

指 標	R2時点	現況 (R6末)	R7目標
ユニバーサル社会づくり推進地区の事業プラン策定 及び見直し市町数	—	1町	20市町

令和7年度の目標 及び 現況

02

ハード整備に関する目標

- 公共交通関係は概ね順調に推移
- 住宅については、人生いきいき住宅助成(一般型)の廃止など、取組の変化も発生

項 目	指 標		R2時点	現況 (特記なきものはR6末)	R7目標
鉄道 駅舎	1日の平均乗降客数3千人以上の駅舎の2経路目のバリアフリー整備数		—	1駅	2駅
	1日の平均乗降客数3千人未満駅で、3千人以上駅と同程度の高齢者等の利用が見込まれる駅のバリアフリー整備数		—	4駅	10駅
	10万人以上駅のホームドア設置数		—	4/8	全駅
バス 車両	乗合バスに対するノンステップバス導入率 ※適用除外認定車両については、その約25%をリフト付きバス又はスロープ付きバスとするなど、高齢者、障害者等の利用の実態を踏まえて、可能な限りバリアフリー化する。		66%	73% [暫定値]	80%
道路	重点整備地区内の主要な経路を構成する道路のバリアフリー化率		88%	89% [R5末]	95%
公園	都市公園	園路・広場のバリアフリー化率	81%	79% [R3末]	83%
		駐車場のバリアフリー化率	59%	62% [R5末]	70%
公益的 施設等	公益的施設等のバリアフリー化率 バリアフリー情報公表制度の対象施設のうち移動等円滑化基準に適合する施設の割合		69%	今後調査	75%
住宅	住宅のバリアフリー化率 65歳以上の世帯員のいる主世帯のうち高齢者等のための設備がある世帯の割合		59%	61% [推計値]	65%
タクシー	福祉タクシーの導入台数 ※総車両数の約25%について、ユニバーサルデザインタクシーとする		598台増	760台増 [R4末]	2,000台増

令和7年度の目標 及び 現況

ソフト対応に関する目標

- チェック＆アドバイスの実施件数などは概ね順調に推移
- スキルアップ研修は、新型コロナの影響等により開催見送り等が発生し低調

指 標	R2時点	現況 (R6末)	R7目標
接遇研修を行う鉄道事業者数・バス事業者数	—	10/11(鉄道) 13/20(バス)	全事業者
「チェック＆アドバイス」の実施件数	133件	215件 (82件増)	233件 (100件増)
「福祉のまちづくりアドバイザー」スキル・アップ研修の実施回数	—	5回	10回
「ひょうご県民ユニバーサル施設」の認定数	29件	38件 (9件増)	59件 (30件増)
コミュニティバスの立ち上げ支援数	26地域	28地域 (2地域増)	31地域 (5地域増)
みんなの声かけ運動の推進員数	4,925人	5,156人 (231人増)	5,211人 (286人増)
兵庫ゆずりあい駐車場登録数	4,858区画	5,029区画 (171区画増)	5,358区画 (500区画増)

面的なまちづくりに関する指標

(1) ユニバーサル社会づくり推進地区の事業プラン策定 又は 見直し市町数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	0市町 (0市町)	1市町 (1町)	1市町 (0市町)	1市町 (0市町)	20市町

※ 上段 : R3～R6の累計値、(下段) : 単年度実績

評価

- 目標に対して大きく未達成となる見込み
- 新型コロナの影響で活動しにくい環境となったこと、人口減少等による協議会活動の担い手不足が一因として考えられる
- ユニバーサル社会づくりに向けた取組は今後も必要

課題・今後の方向性

- 協議会の関与がなくてもユニバーサル社会づくりの取組を進められるよう、制度を見直す

ハード整備に関する指標

(1) 1日の平均乗降客数3千人以上の駅舎の2経路目のバリアフリー整備数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	1駅 (林崎松江海岸駅)	1駅 (—)	1駅 (—)	1駅 (—)	2駅

※ 上段：R3～R6の累計値、(下段)：単年度実績

評価

- 目標は達成できない見込であるが、JR元町駅東口へのEV設置による2経路目のバリアフリー整備が今年度着手予定であり、概ね順調
- JR須磨駅、山陽須磨駅、JR北伊丹駅など、2経路目のバリアフリー整備の要望がある駅は多い

課題・今後の方向性

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用した整備を鉄道事業者に働きかけ

ハード整備に関する指標

(2) 1日の平均乗降客数3千人未満の駅で、3千人以上の駅と同程度の高齢者等の利用が見込まれる駅のバリアフリー整備数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	0駅 (—)	3駅 (東須磨駅、中八木駅、絹延橋駅)	3駅 (—)	4駅 (夢前川駅)	10駅

※ 上段：R3～R6の累計値、(下段)：当該年度に整備が完了した駅

評価と課題

- JR京口駅、阪神住吉駅でバリアフリー整備を実施中であり、R7年度末に完成見込
- その他、JR武田尾駅、山電霞ヶ丘駅、藤江駅、西飾磨駅でもバリアフリー整備を実施しており、R8年度以降順次完成が見込まれ、概ね順調

課題・今後の方向性

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用しない駅について、積極的に支援を実施

ハード整備に関する指標

(3) 10万人以上駅のホームドア設置数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
2駅 (阪急)神戸三宮 (地下鉄)三宮	3駅 (阪神)神戸三宮	4駅 (JR)三ノ宮	4駅	4駅	全8駅

※ 上段 累計値、(下段)：当該年度に設置が完了した駅

評価

- 駅数では4駅の完了に留まるが、JR姫路駅を除く7駅で整備に着手済み
- ホーム数では、45番線中20番線に設置(R6末)されており、さらに8番線がR7年末までに設置見込

課題・今後の方向性

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用した整備を鉄道事業者に働きかける
- 10万人以上駅について、一定の目途がたったことから、次の展開をどうするかを検討

ハード整備に関する指標

(4) 乗合バス車両数に対するノンステップバスの導入率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
68.1%	68.0%	70.7%	72.4%	73.4%	80%

評価

- R3は新型コロナの影響による利用者の減少、車両の納入遅れ等により導入が進まなかった
- 最近では、年間2%程度で導入率が伸びているものの、目標値は未達となる見込

課題・今後の方向性

- 積雪区間、山岳区間等を走行する車両については、ノンステップバスの導入が難しいことから、今後導入率の頭打ちが想定される
- 国目標が90%に引き上げられる点と合わせて今後のあり方を要検討

ハード整備に関する指標

(5) 重点整備地区内の主要な経路を構成する道路のバリアフリー化率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
87.64%	87.75%	88.10%	88.95%	R7.9ごろ集計見込	95%

※ R1末時点の主要な経路の歩道延長（113.592km）に対するバリアフリー化率

評価

- 着実にバリアフリー化率は上昇しているが、目標は未達となる見込み

課題・今後の方向性

- 95%の目標が高すぎないかは要検討
- R2以降の新規指定地区を加えた目標値に置き換えが必要

ハード整備に関する指標

(6) 都市公園における園路・広場のバリアフリー化率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
80.98%	78.51%	集計中	集計中	集計中	83%

評価

- R4以降、現状把握できていない。公園の統廃合が行われているので、数値は、前後している
- 国の目標（70%／R7末）をすでに達成

課題・今後の方向性

- 国の目標を上回る目標を設定する方向で検討する

ハード整備に関する指標

(7) 都市公園における駐車場のバリアフリー化率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
59.23%	61.82%	61.51%	62.20%	集計中	70%

評価

- バリアフリー化率は上昇しているが、目標は未達となる見込み
- 国の目標（60％／R7末）をすでに達成

課題・今後の方向性

- 国の目標を上回る目標を設定する方向で検討する
- 70％の目標が高すぎないかは要検討

ハード整備に関する指標

(8) 公益的施設等のバリアフリー化率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
69%	—	—	—	集計中	75%

評価

- 現時点で現状を把握できていない
(5年ごとに独自調査により実績を把握。今年度調査を予定)

課題・今後の方向性

- 学校など、特定の用途における実績把握の必要性を要検討

ハード整備に関する指標

(9) 住宅のバリアフリー化率

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
59%	—	—	—	約61%	65%

評価

- 住宅・土地統計調査（R5）の結果によれば、約61%と見込まれ、概ね順調

課題・今後の方向性

- 指標値の設定について要検討
（国と県で「バリアフリー化済み」の定義が異なり、実績値の把握に多大な作業を要する）

ハード整備に関する指標

(10) 福祉タクシーの導入台数（総車両数の約25%について、UDタクシーとする）

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
1,236台 (598台増)	1,155台 (517台増)	1,398台 (760台増)	— ※7月下旬公表予定	—	2,638台 (2,000台増)
6.0%	7.0%	8.8%	13.3%	17.8%(暫定)	25%

※（下段）の増台数は、H27年基準の増数

評価

- R3は新型コロナウイルスの影響により福祉タクシー導入数の減少が生じたがR4には回復
- R5以降のUDタクシー導入率の伸びが著しく、急速に普及が拡大

課題・今後の方向性

- UDタクシーの地域別の導入率の把握及び重点的な導入促進

ソフト整備に関する指標

(1) 接遇研修を行う鉄道事業者数・バス事業者数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	—	鉄道 9/11 バス 13/20	鉄道 10/11 バス 13/20	鉄道 10/11 バス 13/20	全事業者

評価

- 鉄道事業者においては、ほぼ目標を達成している
- バス事業者については、実施率が低いが大手事業者では実施率が低い傾向

課題・今後の方向性

- 各事業者が有する路線長や利用者数を加味した指標など、受益を適切に評価できる指標を要検討

ソフト整備に関する指標

(2) 「チェック＆アドバイス」の実施件数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
133件	148件 (15件増)	174件 (41件増)	193件 (60件増)	215件 (82件増)	233件 (100件増)

※ 上段：累計実施回数、(下段)：R2からの増加数

評価

- 概ね順調に推移
- 公共建築物での実施が普及し、利用者の意見を取り入れた施設整備が浸透

課題・今後の方向性

- 民間施設においてもチェック＆アドバイス等による利用者意見の反映が課題

ソフト整備に関する指標

(3) 「福祉のまちづくりアドバイザー」スキルアップ研修の実施回数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
—	2回 (2回)	3回 (1回)	4回 (1回)	5回 (1回)	10回

※ 上段：R3からの累計実施回数、(下段)：単年度の実施回数

評価

- 目標には届かない見込
- 毎回県庁周辺での開催のため、アドバイザーの居住地に偏りがある
- チェック&アドバイスへの参加により、OJT的にスキルアップも図れている

課題・今後の方向性

- 新規登録者に対しては、実践形式の研修を引き続き実施し、能力向上を図る
- 既存登録者に対しては、OJT形式の研修の充実を図る

ソフト整備に関する指標

(4) 「ひょうご県民ユニバーサル施設」の認定数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
29件	32件 (3件増)	34件 (5件増)	35件 (6件増)	38件 (9件増)	59件 (30件増)

※ 上段：認定総数、(下段)：R2からの増加数

評価

- 目標には到達しないものの、毎年認定実績があり、利用者意見を反映させた施設運営が一定程度普及している
- 市町有施設における認定が多く、民間施設の認定事例が少ない

課題・今後の方向性

- 民間施設における認定数の増加
- 認定数増加に向けた認定手続の簡略化を検討

ソフト整備に関する指標

(5) コミュニティバスの立ち上げ支援数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
26地域	27地域 (1地域増)	27地域 (1地域増)	28地域 (2地域増)	28地域 (2地域増)	31地域 (5地域増)

※ 上段：支援総数、(下段)：R2からの増加数

評価

- コミュニティバスの導入は進んでいるものの、支援対象となる自家用有償旅客運送の新規立ち上げ地域が少なく、微増となっている。目標は未達となる見込

課題・今後の方向性

- 国の制度動向を踏まえながら、交通空白解消に向けた市町の取組への支援を引き続き実施

ソフト整備に関する指標

(6) みんなの声かけ運動の推進員数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
4,925人	4,972人 (47人増)	5,068人 (143人増)	5,085人 (160人増)	5,156人 (231人増)	5,211人 (286人増)

※ 上段：登録総数、(下段)：R2からの増加数

評価

- 概ね順調に増加

課題・今後の方向性

- 必要な人数を引き続き維持

ソフト整備に関する指標

(7) 兵庫ゆずりあい駐車場登録数

目標値と実績値の推移

実績値					目標値
R2	R3	R4	R5	R6	R7
4,858区画	4,870区画 (20区画増)	4,915区画 (57区画増)	4,935区画 (77区画増)	5,029区画 (171区画増)	5,358区画 (500区画増)

※ 上段：登録総数、(下段)：R2からの増加数

評価

- 区画総数は5,000を超えている
- 1年当たりの増加数は約40区画/年となっており、目標には届かない

課題・今後の方向性

- 必要な区画数を引き続き維持